

## 出雲市福祉総合相談支援事業の取組について

### 1. 概要

出雲市では、複雑化・複合化した課題を抱える世帯や個人について、関係機関が連携して支援を行うことができる体制をつくるために、出雲市社会福祉協議会と連携して令和2年度から「福祉総合相談支援事業」を実施してきた。

令和3年度には国において「重層的支援体制整備事業」がスタートし、本市においても第4次出雲市地域福祉計画・地域福祉活動計画で「重層的支援体制整備事業計画」を位置づけ、令和5年度から「福祉総合相談支援事業」の中で取組を推進する。

### 2. 令和5年度の取組実績（12月末時点）について

令和4年度以前からの継続	37世帯（うち、終結20世帯）
令和5年度に本事業で対応を開始	14世帯（うち、終結5世帯）

### 3. 重点的な取組について

#### （1）事業のターゲット（重点対象者）について

本事業では、複雑化・複合化した課題を抱える世帯や個人を対象としている。しかし、昨年度までの取組の中で、関係機関からは本事業に繋ぐ対象者像がわかりづらいという声もあった。

そのため、本事業の主な対象者を「ひきこもりなど地域や社会から孤立し、支援が届いていない人」としていく。

既存の制度や支援機関とつながっていない対象者を、アウトリーチや参加支援事業も活用しながら支援していく。

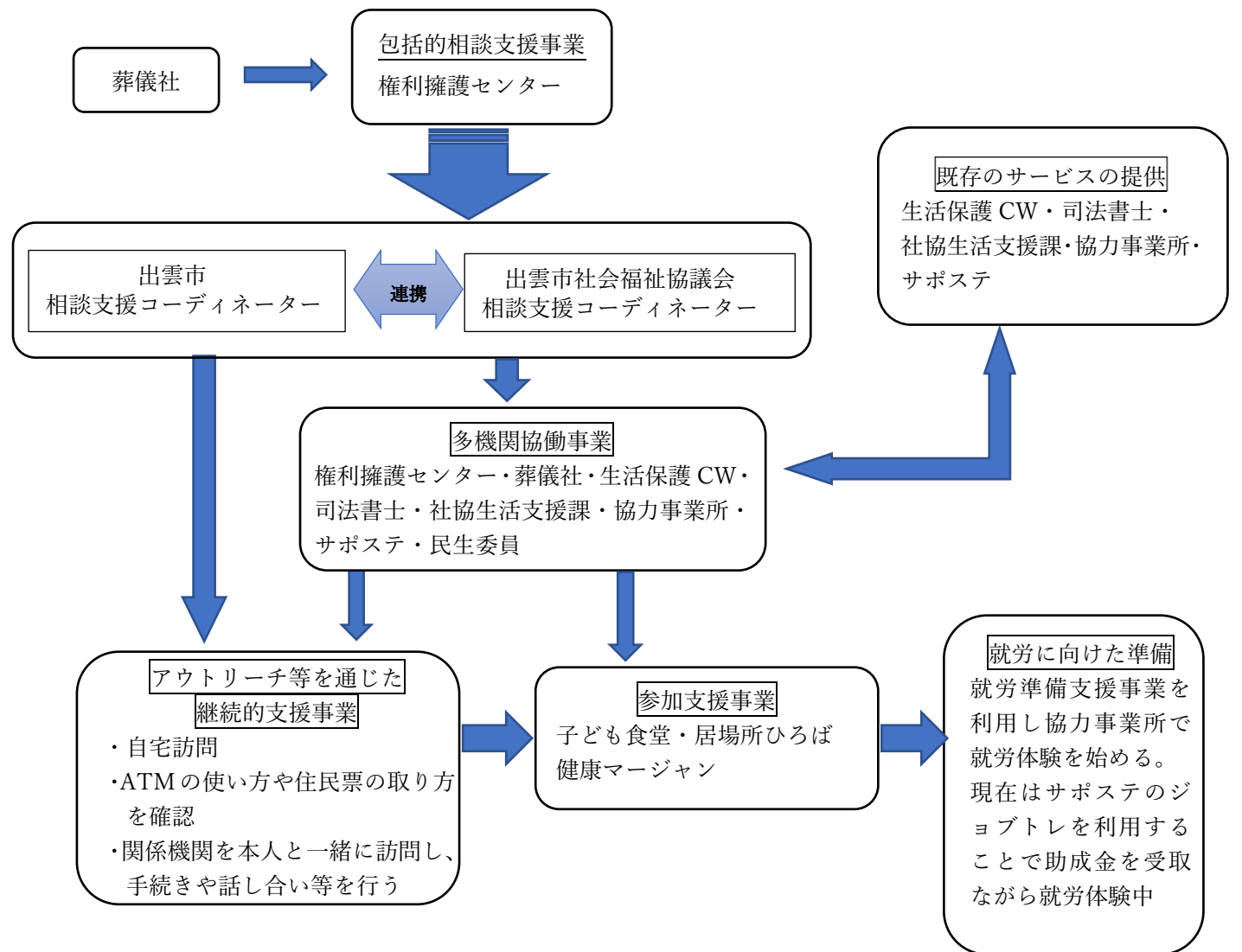
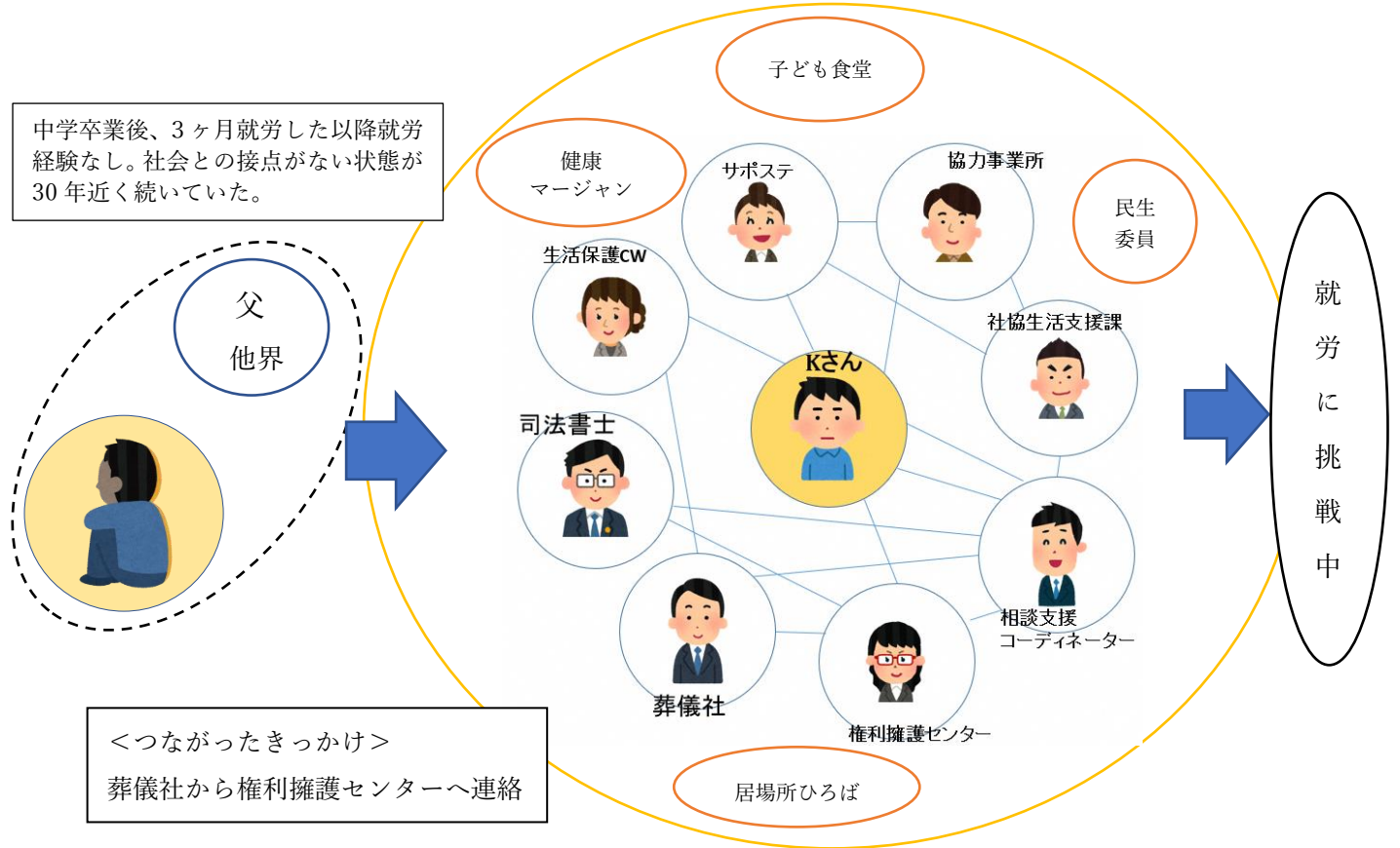
#### （2）重点対象者（若年層）への支援について

「ひきこもりなど地域や社会から孤立し、支援が届いていない人」はその状況が長期化するケースが多く、できる限り早い段階での対応が効果的である。

その取組として、まずは教育委員会と意見交換を行い、特に中学校卒業後の進路が決まっていない生徒に対する支援の方法等について検討を行った（12/7）。

今後も、他団体と意見交換を行い、若年層へのアプローチの手法等について検討していく。

# <社会的孤立（ひきこもり）のケース>



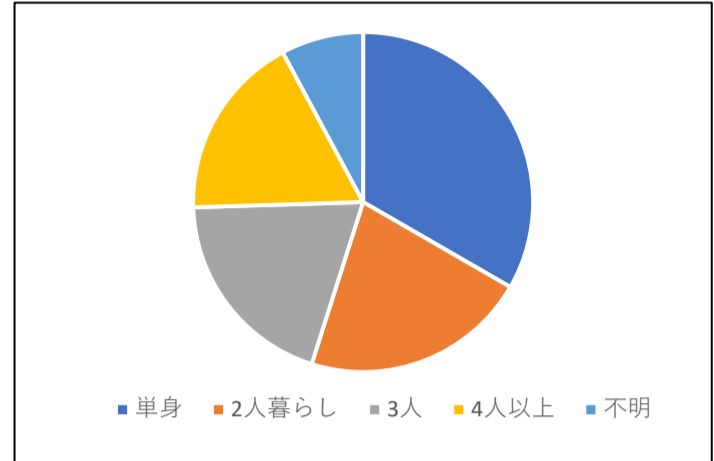
○令和3～5年度（12月末時点） 出雲市福祉総合相談支援事業実績

1 対応件数

年 度	実件数（世帯）
令和3年度	19世帯
令和4年度	18世帯
令和5年度(12月末時点)	14世帯
合計	51世帯（121人）

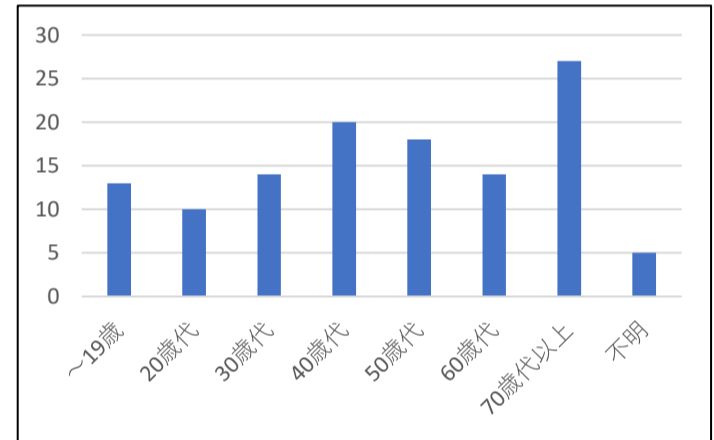
2 世帯構成人数

構成人数	世帯数（世帯）	割 合（％）
単身	17	33.3
2人暮らし	11	21.7
3人	10	19.6
4人以上	9	17.6
不明	4	7.8
合計	51	100.0



3 世帯構成員の年齢

年齢世代	人 数（人）	割 合（％）
～19歳	13	10.8
20歳代	10	8.3
30歳代	14	11.6
40歳代	20	16.5
50歳代	18	14.9
60歳代	14	11.6
70歳代以上	27	22.2
不明	5	4.1
合計	121	100.0



4 世帯が抱える課題のカテゴリ

※1世帯に複数課題あり

	件 数（件）	割 合（％）
病気・怪我	10	4.3
障がい（手帳あり）	18	7.7
障がい（疑い）	13	5.6
メンタルヘルス・自殺企図	30	12.8
住まい	9	3.8
経済的	47	20.1
就労	14	6.0
社会的孤立	27	11.5
家族関係・家族の問題	27	11.5
介護	7	3.0
子育て	2	0.9
DV・虐待	8	3.4
コミュニケーション苦手	22	9.4
合計	234	100.0

うつ・不眠・依存症・自殺企図

ホームレス

困窮、多重・過重債務、家計管理の課題

ひきこもり・ニート

5 終結ケース

25件